

# 和歌山大学協働教育セミナークリエイティブプロジェクト

<2018年度ミッション成果報告書>

プロジェクト名：高野七口活性化プロジェクト「ばあむ。」

ミッション名：大学生旅行ニーズ調査

ミッションメンバー：観光学部3年 森亮貴、観光学部3年 奥出里紗、観光学部2年 桂喜美 他13名

キーワード：1. 高野山 2. バスツアー 3. 精進料理 4. 若者

## 1. 背景と目的

高野山でのツアーを企画する中で我々高野七口活性化プロジェクト「ばあむ。」の学びを深めた上でツアーを実施し、ツアー参加者と共に高野山を学び魅力を伝えると同時に本活動の活動周知と理解を促す。また企画ツアー参加者を対象にした事後アンケートより学生の旅行ニーズについて調査を行う。また今回のターゲットは和歌山大学内の学生に絞り、高野山を訪れたことがない人は訪れるきっかけに、訪れたことがある人はリピーター層としての獲得を図る。

## 2. 活動内容

### 2-1 事前準備

本ミッションを行う前に、まずグループ内でのメンバーの高野山に対する知識を高める必要があると考え、空き時間を利用しての勉強会、そして週末を利用して、我々メンバーによる高野山の下見などを繰り返した。また高野山についてより詳しい知識を得るために、高野町の方々に協力していただき、実際に一緒に高野山を歩いて、各名所の説明をうけながら下見を行った。また本ツアーの集客を図るために、お昼休みには大学内でチラシを配布、そしてSNSで発信するなど、より多くの方の目に留まるように努めた。

### 2-2 ツアー当日

本ツアーは2018年7月16日に実施し、時間は9時から19時。最終的な参加人数は26名を数えた。また高野山を訪れる際の問題点として、交通費や所要時間等の交通の便が挙げられるが、今回は和歌山大学から移動用のバスをばあむで用意し、ツアー参加者の交通費を無料に設定した。また本ツアーでは3つのコースを用意して、高野山に親しみやすく、関心を引けるように努めた。

### 2-3 成果・結果

本ツアーでの最後には、参加者にアンケートを募った。旅先でのガイドの選択の有無については付けないと選択した方が半数を超えたが、本ツアーでのガイドツアー

による参加者の満足度は高く、学びを目的とした旅行には需要度が高いといえる。次に、旅行先を決める際に、最も重視することは体験が60%を超えており、現代の旅行先を選ぶポイントの一つとして体験型というものが挙げられる。その点では高野山は立派な体験型の旅行であると言える。



### 3.活動の成果や学んだこと

今回の活動で、全メンバーがツアー作成に参加することができ、高野山について深い知見を得られることができた。また高野町の方々と協力することができ、高野町の方々が持っている高野山の知識・情報をツアーを通して和歌山大学生に伝えることができた。また、参加者アンケートから大学生が高野山に何を求めているのかを聞くことで、ニーズを把握することができた。

渉外、会計、ガイド担当それぞれが、ツアーを企画する時、何が必要でどのように行動すればいいのか理解することができ、来年度からのツアー企画に生かしていくことができると考える。

### 4.今後の展望

今回の活動の問題点としては、ツアー開催までの準備期間が短かったことから、当日特に会計の部分で細かなミスが出てしまったことが挙げられる。また、準備期間の短さは、ツアー参加者が予定人数より少なくなってしまうことにもつながった。来年度以降は、日程の調整をしっかりと行なっていくこと、各班の連携を密にしていくことで、今年度の活動の問題点を解決していきたいと考える。さらに、今回のツアーでは参加者にアンケートを答えてもらうことで、大学生の高野山のイメージ、高野山を観光するのに求めること、今回のツアーで良かった点・改善点の情報を得ることができた。今後もアンケートを継続的に行なっていき、大学生の高野山のニーズ、ツアーへのニーズを把握することで、より良いツアーを企画していき、高野山の観光発展に寄与していきたいと考える。

## 5.まとめ

今回の活動では、高野山へのツアーを行いました。この活動を通して、メンバーが高野山についてより深い知見を得ることができた。今回のツアーでの良かった点・改善点を明らかにし、来年度以降より魅力的なツアーを企画していければと考える。